



かみねの長老

「長老」という言葉の意は年を取った人に対する尊称だそうです。特に仏教においては出家者の中でも経験豊富で徳の高い人の事を指すそうな。ならばかみね動物園において長老とは彼女の他にはいないでしょう。



<左がバシャン、右がチャポン>

カバのバシャンです。御年52歳。
かみね動物園が今年で57周年を迎えるのでまさに生き字引。
酸いも甘いもかみ分けた日本カバ界の大御所。

現在は娘のチャポンと2頭で暮らしています。



ひと月ほど前の話ですが、
そんなバシャンに日ごろの感謝の気持ちを込めて敬老の日みんなでケーキを作りました。
当日はたくさんの方が集まってくれましたよー！



もはや恒例のおからケーキ。今年は「気持ち」を込めたハート型。
誰ですか「お尻」って言ったの。



ホシや花型に抜いたニンジン、リンゴをみんなに飾り付けてもらって・・・



今回は担当者がカービングに初挑戦。

読めますか？“げんきでいてね”って彫ってあります。
他園の飼育員の方が上手に作っているのを見て私も彫ろう！とはりきったんですけど。
修行が足りぬ。



さてケーキ完成。毎回芸術作品に仕上がるおからケーキ。

今回も気に入って食べてくれるでしょうか？



<これはなんだ？>



<さつまいもをぱくっ>



<チャポン登場>



<バシャンが見えないよ・・・>

2頭でバクバク

今回も見ていて気持ちいい食べっぷり。お見事。



<豪快にぱくっ>



<感謝の気持ちをこめてガイドしました>

計14頭の子供を産み、日本のカバ家系図を支えているビッグマザー。

担当につかせてもらって今年で4年目。動きはゆっくりになりつつも今までで一番肌艶が良いように思います。

飼育員の仕事で基本中の基本「観察」は彼女に最も教えてもらいました。

餌の内容や部屋に入れるタイミング、何をしてもらったら嬉しいか、突然のアクシデントにはどのように対処すれば良いかなど等。高齢でよりケアが必要な動物だからこそたくさん観察して学ばせて頂いています。

これからカバの大敵、乾燥と寒さの冬がやってきますがバシャンのペースに合わせてゆっくり快適に過ごして頂くつもりです。

たまに室内で見づらい事もあるかと思いますが、のんびり過ごしている姿を暖かく見守って頂ければ幸いです。

<おまけ>



担当者が彫ったりんごはあっけなくプールに落とされ、そのうち食べてくれるだろうと思いきや
閉園まで浮かんでいるのでした・・・。

(飼育員 とにかく切ない井上)

2015年10月31日

衣替えはお済みですか？

もうすっかり秋も深まり、肌寒い日が続いていますね～
動物園の動物たちも、冬支度をはじめています。

私の担当動物のホンシュウジカも、夏毛から冬毛に衣替え真っ最中です。



背中の水玉模様は夏毛の証。

この水玉、ただのおしゃれってわけじゃないんです。

本来、シカは、森の中に住んでいます。

夏の森は、木の葉が生い茂っていて、太陽の光がまばらに差し込みます。いわゆる“木漏れ日”ですね。



※http://kabegami.mobi/lib/nature/plant/02564_240x320.html 引用

シカの背中の水玉は、この“木漏れ日”の景色にとけこむことができ、敵から見つかりにくくなっているんです。

一方、秋・冬になると、木の葉が落ちて茶色い森になりますね。



※<http://www.myoko.org/doc/otomiko/blognplus/index.php?e=214> 引用

そうすると、背中の水玉は、森の景色にとけこめず、逆に目立ってしまいます。だから、背中の水玉をなくして、茶色い毛にすることで、茶色の森の景色にとけこむわけです！



この、周りの景色にとけこむ体色や模様のことを『保護色』とか、『カムフラージュ』といったります。

さらに、色や模様だけでなく、夏毛は涼しくすごせるように、冬毛は暖かくすごせるよう

に、毛の量や質も変化します。
私達と同じく衣替えをするんですね～

そして、冬毛の写真をご覧の皆様はお気づきでしょう…

そう！年に一度の角切りを、先日、行いました！



(すっきり、丸坊主…)

ニホンジカの角はオスだけにあります。
この角、毎年生え変わり、野生では2月頃に角が落ちます。
動物園のシカも同じで、何もしなくても2月頃に角は抜けます。

では、どうして、わざわざ角切りをするのでしょうか？

シカにとっての角は、強さの象徴です。
食べものやメスを奪い合うとき、オスたちは角を突き合わせて競い合います。
シカの繁殖期は秋なので、この角を突き合わせる行動が非常に多くなるんです。

この角突き、シカ同士でやっていたくればいいものの、
彼らの生活空間に入る飼育員にも向かってきてしまいます。

でも、私達には角がないですし、戦うすべがありません。シカの角に刺されてしまったら…
ぞっとしますね。



かといって、私達が給餌や掃除を怠ると、動物園のシカたちは元気に暮らせなくなってしまいます。

つまり！！
お互いの幸せのために、角切りをしているんです。

見た目はなんだか寂しい気がしますが…

そういうわけで、かみね動物園のシカたちは、冬の間、すっきり丸坊主頭で過ごしています。

また春になったら角が生えてくるので、楽しみにしててください♪

冬支度、真っ最中の動物たちに会いにきてくださいね～

(新シカ舎担当／獣医師・あきば)

2015年10月24日

過去の一覧

[令和6年](#)

[令和5年](#)

[令和4年](#)

[令和3年](#)

[令和2年](#)

[令和元年](#)

[平成30年](#)